

家庭で話そう！

我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ

岩手県PTA三行詩コンクール 入選作品の紹介

今年度の岩手県PTA三行詩コンクールの審査結果をお知らせします。

小学生の部には28校から338点、中学生の部には12校から382点、一般の部には29PTAから103点の応募がありました。

最優秀賞・優秀賞・優良賞の上位三賞(計15点)は、全国コンクールに推薦いたしました。また、12月3日(日)に開催予定の岩手県PTA連合会年次表彰式で表彰することとしております。



作品ひとつひとつをじっくり読ませていただきました

小学生の部

(338点)

★最優秀賞

北上市立笠松小学校

3年 高橋 杏珠

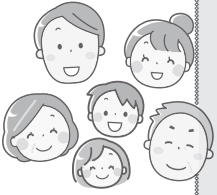
「もうパパといっしょにねてあげない。」
わたしがおこると言う言葉
朝にはならんでねてるけど。

★優秀賞

花巻市立大迫小学校

2年 藤根常大朗

ぼくがわらうと
みんながわらう
きもちがいいな。
えがおがいっぱい
きもちがいいな。



★優秀賞

盛岡市立山岸小学校

6年 茅森 蒼太

平日の
めざまし時計は
母の声
休みの朝は
ぼくがアラーム



★優良賞

盛岡市立山岸小学校

6年 及川 大成

いのち必ず終わりは来る。
いのちあるうち後悔なく
チャレンジしていこう。
苦しくても笑顔でちよつと
ふんばって
がんばっていいこう!!

★優良賞

盛岡市立本宮小学校

3年 島山 杏榎

妹がずるがしこくて
はらが立つ
でもこまっていると
たすけたい。

★奨励賞

盛岡市立大新小学校

3年 鈴木 直翔

花巻市立八重畑小学校
1年 伊藤 結愛
一関市立黄海小学校
3年 太齊 優人

中学生の部

(382点)

★最優秀賞

盛岡市立上田中学校

3年 鈴木 航

毎試合必ず聞こえてくる応援
練習の送りむかえ
5年間、1人で続けてきた
わけじゃない

★優秀賞

盛岡市立城西中学校

2年 工藤 攸翔

「何かたべたい」毎日母に
僕は言う
もうつなぐことのなくなった
母の手で
にぎってくれるおにぎりが
毎日のおやつ 心の栄養



★優秀賞

陸前高田市立高田第一中学校

3年 矢作 琴葉

言い合いになる事もあるけど
いつも人の心配ばかりする
そんな母のように
私はなりたい

★優良賞

北上市立北上中学校

3年 菅原 絆生

わかったよ
自分の名前に込められた
両親の願い その意味を

★優良賞

陸前高田市立高田第一中学校
3年 村上 暁斗

「ありがとう」
喉の奥に引っかかったまま
出てこない
反抗期の自分デス

★優秀賞

盛岡市立河南中学校PTTA
高屋敷理恵

「早く大きくなつて」
が、いつのまにやら
「もう少し子供のままでいて」
親もけっこうわがままですね

★優良賞

宮古市立新里小学校PTTA
澤口 嘉治

捨てずに出てきた通信簿
似たり寄ったり
うれしはずかし
やっぱり父娘。

★奨励賞

陸前高田市立高田第一中学校
3年 鶴嶋 祐成
陸前高田市立高田第一中学校
3年 佐々木永遠
陸前高田市立高田第一中学校
3年 熊谷 琉花

★優秀賞

花巻市立八重畑小学校PTTA
晴山 春佳

娘と眠る 父親の
嬉しそうな表情
「今だけだから」と
8年経っても 言っている

★奨励賞

花巻市立若葉小学校PTTA
阿部山麻里江
花巻市立八重畑小学校PTTA
晴山 竜弥
奥州市立岩合堂小学校PTTA
高野 渉
奥州市立岩合堂小学校PTTA
田中 香
一関市立黄海小学校PTTA
後藤 純一
九戸村立伊保内小学校PTTA
平中 幸子

「一般の部」

(103点)

★最優秀賞

花巻市立花巻北中学校PTTA
村木 由香

人混み避けて 自然求めて
行った車中泊
四人でギョウギョウ 文句を
言っても
家族はやっぱり 密がいいね。

★優良賞

奥州市立岩合堂小学校PTTA
澁谷 玲奈

給食の牛乳嫌いなはずなのに
残さず飲む訳聞いてみた
「牛さんにもうしわけない
でしょ」
感謝の気持ち忘れずに
6歳息子に教えられ



審査委員

岩手県小学校長会副会長
和田 英氏 (委員長)
岩手県中学校長会常任理事
久慈 孝氏 (委員)
学識経験者
菊池 敏宏氏 (委員)
岩手県教育委員会事務局生涯
学習文化財課社会教育主事
阿部 貴弘氏 (委員)

講評

岩手県PTA連合会
会長 山下 泰幸氏 (委員)
副会長 (研修委員長)
向井 隆氏 (委員)
副会長 (母親委員長)
山口 真樹氏 (委員)

審査委員

岩手県教育委員会事務局生涯
学習文化財課社会教育主事
阿部 貴弘氏

【優れていたところ】

日常の中の何気ない家族
とのやりとりや会話の情景が
浮かんだり、様々な心の内側
を表した文章が心に響いたり
する作品が多くありました。
特に、小学生の部では素直な
気持ちを表現した作品、中学
生の部では家族の支えへの気
付きを表現した作品、一般の
部では子どもの成長への喜び
を感じる半面、寂しさも感じ
るなど複雑な胸の内を表現し
た作品が印象に残りました。

三行詩という短い文章の中
で、言葉の選択、表現の工夫
が光る作品が多くあり、そう
いった作品に審査員一同感情
が揺さぶられ、作品から応援
されるような感覚さえありま
した。また、詩の内容が「絵」



作品を並べての最終選考です

として描けそうなものやハッ
きり想像できそうな作品があ
りました。さらに、作品を声
に出して読んでみると、文字
として見た時との変化を感じ
ることができ、違った良さに
気付く場面がありました。

【今後期待すること】

改めて、三行詩という短い
文章の中で、家族の日常や家
族に伝えたい思い等をいかに
表現するかを意識することが
重要だと感じました。単にそ
の表現したい日常や思いを文
章で説明するのではなく、そ
の日常や思いにふさわしい言
葉や表現方法を選び、吟味す
ることが、より読み手の心に
響く三行詩の作品につながり
ます。